

## 研修の意味と高教研の役割

北海道高等学校教育研究会地歴・公民部会長 阿部 穰  
(北海道有朋高等学校長)

今年度、高教研地歴・公民部会長を仰せつかることとなりました有朋高校の阿部です。会員の皆様には、日頃より当部会の活動に多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。もとより微力ですが、活動の充実・発展に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

さて、皆様ご承知のとおり、今年度から、教員免許更新講習に代わる「新たな教師の学びの姿」を実現するための研修制度が、新たに始まりました。

研修とはどのようなものなのでしょうか。教育基本法第9条には、「法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。」と規定されています。すなわち、研修は「研究」と「修養」から成り立っています。

研究とは「物事を詳しく調べたり、深く考えたりして、事実や真理などを明らかにすること」であり、修養とは「知識を高め、品性を磨き、自己の人格形成につとめること」を言います(いずれも「大辞林」による)。

研修それ自体は、以前から存在しているものであり、私たち教員はこれまでも内外で様々な研修を受けてきました。ただし教員の研修は、職務の特殊性から鑑み、①自主的な研修や職場を離れての研修を可能としていること、②現職のまま長期の研修や大学院等の履修が可能であること、③初任者・中堅教諭等資質向上研修等の体系的な研修が義務づけられていることなどの配慮がなされています。

こうしたことを踏まえると、先生方の自主的な参加によって成り立つ高教研は、研究大会や部会・分科会の開催、研究紀要の発行等を通し、高校教員としての主体的・継続的かつ個別最適・協働的な学びを支える組織として、今後ますます重要な役割を担うものであると強く感じます。

近年、「ウェルビーイング (Well-being)」の考え方が重視され、経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさなどを含めて幸福や生きがいを捉えることが大切であると言われます。とりわけ、地理歴史科・公民科の教員である私たちは、過去から現在までに至る社会の成り立ちや様相、仕組み、あるいは人間としての在り方・生き方などの学習を通し、ウェルビーイングを高める教育に深く携わってきました。

新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、夏季休業中における地理歴史科・公民科の各科目の研究会の対面開催が復活し、本会報の4頁以降にその詳細が紹介されています。絶え間なく変動する社会において、教育もまた大きく様変わりしています。そうした状況の中、私もまた、より一層の研究と修養に励みたいと思っております。

●令和5年度(2023年度)高教研地歴・公民部会役員一覧

| 役 職     |         | 氏 名       | 学校名             | 住所                  |              |
|---------|---------|-----------|-----------------|---------------------|--------------|
| 部 会 長   |         | 阿 部 稔     | 有 朋 高 校         | 札幌市北区屯田9条7丁目        |              |
| 副 部 会 長 |         | 藤 井 一 志   | 札 幌 東 高 校       | 札幌市白石区菊水9条3丁目       |              |
|         |         | 久 保 肇     | 札 幌 手 稻 高 校     | 札幌市手稲区手稲前田497番2     |              |
|         |         | 太 田 吉 祐   | 大 麻 高 校         | 江別市大麻ひかり町2番地        |              |
| 監 事     |         | 佐 藤 公 人   | 石 狩 南 高 校       | 石狩市花川南8条5丁目1        |              |
|         |         | 柳 野 五十秀   | 札 幌 新 川 高 校     | 札幌市新川5条14丁目1番1号     |              |
| 運 営 委 員 | 世界史     | 榊 原 康 文   | 札 幌 大 通 高 校     | 札幌市中央区北2条西11丁目      |              |
|         |         | 菊 池 真 哉   | 札 幌 英 藍 高 校     | 札幌市北区篠路町篠路327番地67   |              |
|         | 日本史     | 安 藝 宏 和   | 札 幌 北 陵 高 校     | 札幌市北区屯田7条8丁目1-8     |              |
|         |         | 泉 宏 和     | 岩 見 沢 東 高 校     | 岩見沢市東山8丁目1番1号       |              |
|         | 地 理     | 三 浦 徹     | 札 幌 丘 珠 高 校     | 札幌市東区北丘珠1条2丁目589番地1 |              |
|         |         | 久 恒 亮     | 石 狩 翔 陽 高 校     | 石狩市花川東128番地31       |              |
|         | 公 共     | 横 平 麻 紀 子 | 有 朋 高 校         | 札幌市北区屯田9条7丁目        |              |
|         |         | 伊 藤 航     | 札 幌 北 高 校       | 札幌市北区北25条西11丁目      |              |
|         | 倫 理     | 渡 邊 昭 博   | 札 幌 北 陵 高 校     | 札幌市北区屯田7条8丁目1-8     |              |
|         |         | 倉 部 英 利 子 | 札 幌 手 稻 高 校     | 札幌市手稲区手稲前田497番2     |              |
|         | 政 治 経 済 | 下 川 欣 哉   | 札 幌 国 際 情 報 高 校 | 札幌市北区新川717番1        |              |
|         |         | 大 久 保 博 史 | 有 朋 高 校         | 札幌市北区屯田9条7丁目        |              |
|         | 事 務 局   | 局 長       | 志 田 光 瑞         | 有 朋 高 校             | 札幌市北区屯田9条7丁目 |
|         |         | 次 長       | 高 橋 昌 宏         |                     |              |
| 佐 藤 豊 記 |         |           |                 |                     |              |
| 局 員     |         | 田 辺 孝 規   |                 |                     |              |
|         |         | 大 久 保 博 史 |                 |                     |              |
|         |         | 中 島 敏 博   |                 |                     |              |
|         |         | 小 門 宏     |                 |                     |              |
|         |         | 横 平 麻 紀 子 |                 |                     |              |
|         |         | 久 保 真 理   |                 |                     |              |
|         |         | 酒 井 雄 一   |                 |                     |              |
|         |         | 伊 藤 智 大   |                 |                     |              |
|         |         | 藤 井 秀 樹   |                 |                     |              |
|         |         | 山 科 晶 裕   |                 |                     |              |
|         |         | 市 川 晃 義   |                 |                     |              |
|         | 庄 子 尚 史 |           |                 |                     |              |

# ●令和5年度高教研地歴・公民部会（教科別集会）のご案内

## 1 地歴・公民部会 研究主題について

### (1) 令和5年度地歴・公民部会研究主題

「社会的な見方・考え方」を育てるICTを効果的に活用した授業の在り方

### (2) 令和5年度専門部(分科会)研究主題

ア 世界史：ICTを活用し、主体的に取り組み課題を見出す力を育てる学習指導の工夫・改善

イ 日本史：歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり、解決したりする活動が展開する授業の設計

ウ 地理：地理必修化に応える「地理的な見方・考え方」を育成するための主体的・対話的で深い学びの実践

エ 公共：ICTを活用し、公民的資質を育成する「公共」の主体的・対話的な授業構想と実践

オ 倫理：ICTを活用し、公共や倫理の学びを手掛かりに在り方生き方の思索を深めるための授業展開

カ 政治経済：公民としての資質・能力を育成する「政治・経済」学習指導の工夫・改善

## 2 期 日

令和6年1月12日（金）

## 3 会 場

北海道有朋高等学校

〒002-8504 札幌市北区屯田9条7丁目 TEL 011-773-8200

※上履きは必要ありません。

## 4 内 容 （時間帯は予定）

| 9:00 | 9:30                         | 10:20 | 10:30                        | 12:30 | 13:30                             | 15:30 | 15:50 |
|------|------------------------------|-------|------------------------------|-------|-----------------------------------|-------|-------|
| 受付   | 開会式<br>総会<br>各研究会紹介<br>【体育館】 | 休憩    | 講演<br>(分科会ごと)<br>【使用教室は当日案内】 | 昼食    | 研究発表・協議<br>(分科会ごと)<br>【使用教室は当日案内】 |       | 閉会式   |

## 5 講演・研究発表・司会・記録の依頼

分科会運営委員が依頼します。ご協力をお願いします。

## 6 交通機関

### (1) 地下鉄南北線 麻生駅より

○中央バス 石狩庁舎前行（麻17）乗車時間15分 有朋高校下車 徒歩3分

○中央バス 石狩庁舎前行（麻08）乗車時間13分 イトーヨーカ堂屯田店前下車 徒歩13分

○中央バス 屯田6条12丁目行（麻01）乗車時間11分 屯田小学校下車 徒歩13分

### (2) 地下鉄東豊線 栄町駅より

○中央バス 石狩庁舎前行（栄19）乗車時間15分 屯田小学校下車 徒歩13分

### (3) 札幌ターミナルより

○中央バス 屯田6条12丁目行（麻02）乗車時間37分 屯田小学校下車 徒歩13分

※ 有朋高校の駐車場は運営者・講師以外にも若干の駐車スペースはありますが、満車の際は、校舎周辺には駐車スペースがありませんので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

## 7 研究紀要61号の執筆依頼

(1) 教科に関するもので、24,000字以内（24文字×1,000行 10頁以内）です。

（詳細は会報119号に記載）

(2) 申込みは、令和5年8月25日（金）までに事務局(有朋高校)へ論文概要を送付してください。

## 8 その他

開催方法は対面開催とし、各分科会（講演・研究発表協議）については、オンライン配信併用実施の可否を検討中。

# ●令和5年度地歴・公民科 各種研究会のご案内

～互いに学び、情報交換して、夏に教科指導力を高めましょう！～


※詳細は、各学校に案内されている実施要領をご覧ください。

## □北海道関係

|  |                     |                        |                  |   |
|--|---------------------|------------------------|------------------|---|
| 研究会名称  | 北海道高等学校世界史研究会       |                        |                  |   |
| 会長名  | 増田 康 広 (北海道斜里高等学校長) | 事務局長                   | 本間 靖 章           |   |
| 事務局  | 北海道札幌南高等学校          | 札幌市中央区南 18 条西 6 丁目 1-1 | TEL 011-521-2311 |   |
| 研究会のご案内  | 期 日                 | 令和5年8月4日 (金)           | 会 場              | 北海道科学大学高等学校 Links ホール<br>※対面とオンラインのハイブリット |
|  | 第54回北海道高等学校世界史研究大会  |                        | 参加料              | 対面 : 2000 円<br>オンライン : 1000 円             |
| <p>○テーマ 「歴史総合と探究科目をどうつなぐか」</p> <p>○参加費 対面 : 2000 円 オンライン : 1000 円<br/>※決済はオンライン決済で行います。お申し込みいただきましたら、決済方法をメールにて連絡させていただきます。</p> <p>○日 程</p> <p>9:00 ~ 9:30 受付</p> <p>9:30 ~ 9:45 総会 (北海道のみ)</p> <p>9:45 ~ 10:00 開会式</p> <p>10:00 ~ 12:30 講演・質疑<br/>講師: 河 上 麻由子 大阪大学准教授<br/>「東アジア古代史の中の日本～国風文化を東アジアの歴史にどう位置付けるか」<br/>コメント: 吉 田 拓 矢 北海道大学講師</p> <p>12:30 ~ 13:30 昼食・休憩</p> <p>13:30 ~ 14:45 研究発表<br/>・日本史の入試変遷から見る歴史総合と日本史探究の授業<br/>発表者: 千 葉 康 平 (広尾)<br/>・世界史の入試変遷から見る歴史総合と世界史探究の授業<br/>発表者: 酒 井 佑 輔 (札幌旭丘)</p> <p>15:00 ~ 16:30 研究協議・閉会式</p> <p>○申込み <a href="https://forms.gle/QD1mccdf449TbrwTA">https://forms.gle/QD1mccdf449TbrwTA</a> または右記 QR コードによりお申し込みください。研究大会への申し込みは7月23日 (日) までとさせていただきます。</p> |                     |                        |                  |   |



|  |                      |                     |                  |                  |
|--|----------------------|---------------------|------------------|------------------|
| 研究会名称  | 北海道高等学校日本史教育研究会      |                     |                  |                  |
| 会長名  | 荻島 勝 幸 (北海道室蘭栄高等学校長) | 事務局長                | 國岡 健             |                  |
| 事務局  | 北海道恵庭南高等学校           | 恵庭市白樺町 4 丁目 1 番 1 号 | TEL 0123-32-2392 |                  |
| 研究会のご案内  | 期 日                  | 令和5年8月3日 (木)        | 会 場              | 北海道クリスチャンセンターホール |
|  | 第46回北海道高等学校日本史教育研究大会 |                     | 参加料              | 2,000 円          |
| <p>○日 程</p> <p>9:00~ 9:30 受 付</p> <p>9:30~10:00 総 会</p> <p>10:00~12:00 講演1 演題 「戦国大名と分国法」 (仮)<br/>講師 清 水 克 行 氏 (明治大学商学部教授)</p> <p>12:00~13:30 昼食・休憩・準備</p> <p>13:30~15:30 講演2 演題 「室町時代の五山派禅宗寺院と政治権力」 (仮)<br/>講師 高 鳥 廉 氏 (北海道武蔵女子短期大学教養学部専任講師)</p> <p>○参加方法<br/>事前申し込みは必要ありません。当日会場で受付をしてください。</p> |                      |                     |                  |                  |

|         |  |                 |   |
|---------|--|-----------------|---|
| 研究会名称   | 北海道高等学校地理教育研究会   |                 |   |
| 会長名     | 阿部 穰 (北海道有朋高等学校長)  | 事務局長            | 芳沢 文明   |
| 事務局     | 北海道札幌西高等学校   | 札幌市中央区宮の森4条8丁目1 | TEL 011-611-4401  |
| 研究会のご案内 | 期 日  | 令和5年8月1日(火)     | 会 場   |
|         |  |                 | 札幌駅北口集合・石狩湾新港   |
|         |  |                 | 参加料   |
|         |  |                 | 1,000円  |
|         | 第51回北海道高等学校地理教育研究会 石狩大会  |                 |   |
|         | <p>約4年ぶりの高地研 夏の大会となります。今回のテーマは、「電力」と「物流」です。昨今の電力・エネルギー問題、物価高をはじめとする物流問題の「リアル」を視察します。また、今回は冬季休業中に実施される「北海道高等学校教育研究会 地歴公民部会(地理分科会)」と連携した内容で企画しております。実施2年目の「地理総合」や、来年度から実施される「地理探究」の参考になる内容となっております。お忙しい時期だと思いますが、どうぞご参加ください。</p> |                 |   |
|         | <p>○日 程</p> <p>12:00~12:30 集合受付(札幌駅北口)</p> <p>12:30~ 出発、開会式(バス内)</p> <p>13:30~15:00 北海道電力石狩湾発電所</p> <p>15:30~17:00 株式会社あらた</p> <p>18:00~ 解散(札幌駅北口)</p>   |                 |   |
|         | <p>○参加方法</p> <p>7月21日(金)までに、右のQRコードからお願いします</p> <p>詳細は、各学校に案内されている実施要領をご覧ください。</p>   |                 |   |
|         |  |                 |  <p>第51回北海道高等学校地理教育研究会石狩大会</p> |

|         |  |               |                  |
|---------|--|---------------|------------------|
| 研究会名称   | 北海道高等学校政治経済研究会   |               |                  |
| 会長名     | 太田 吉 祐 (北海道大麻高等学校長)  | 事務局長          | 吉川 敦 巳           |
| 事務局     | 北海道札幌東高等学校   | 札幌市白石区菊水9条3丁目 | TEL 011-811-1919 |
| 研究会のご案内 | 期 日  | 令和5年11月18日(土) | 会 場              |
|         |  |               | 未定               |
|         |  |               | 参加料              |
|         |  |               | 未定               |
|         | 令和5年度北海道高等学校政治経済研究会第48回研究大会  |               |                  |
|         | <p>○日 程</p> <p>9:00~ 9:30 受付</p> <p>9:30~10:00 開会式</p> <p>10:00~12:10 講演 演題「未定」<br/>講師 佐野 博之 氏(小樽商科大学教授)</p> <p>12:10~13:10 昼食・休憩</p> <p>13:10~14:40 実践発表「問題作成の工夫について」(仮)<br/>高橋 大輝 教諭(北海道置戸高等学校)</p> <p>14:40~16:20 シンポジウム<br/>ベネッセコーポレーション模試作問担当者<br/>中村 大輔 教諭(札幌光星高等学校)</p> |               |                  |
|         | <p>○参加方法</p> <p>詳細は、今後、各学校に案内される実施要領をご覧ください。</p>   |               |                  |

|   |                    |                   |                                     |
|---|--------------------|-------------------|-------------------------------------|
| 研究会名称   | 北海道高等学校「倫理」「公共」研究会 |                   |                                     |
| 会長名   | 鈴木 究 (北海道名寄高等学校長)  | 事務局長              | 佐藤 克宣                               |
| 事務局   | 北海道札幌南高等学校         | 札幌市中央区南18条西6丁目1-1 | TEL 011-521-2311                    |
| 研究会のご案内   | 期 日                | 令和5年8月9日(水)       | 会 場                                 |
|   |                    |                   | かでの2. 7 502 研修室<br>※対面とオンラインのハイブリット |
|   |                    | 参加料               | 2,000円                              |
| 2023年度北海道高等学校「倫理」「公共」研究会(第57回研究大会)  |                    |                   |                                     |
| ○主 題 公民科『公共』における指導と評価のあり方について<br>～ 学びを深める授業の実践と観点別評価のあり方を中心にして ～  |                    |                   |                                     |
| (1)「講演」   |                    |                   |                                     |
| 演 題 「公共」的な見方とは何か ―学習指導要領を哲学的に問い直す―  |                    |                   |                                     |
| 講 師 千葉大学人文科学研究院教授 山 田 圭 一 氏   |                    |                   |                                     |
| (2)「意識調査報告」(2023年度道倫研高校生及び保護者意識調査についての研究)   |                    |                   |                                     |
| ・意識調査の目的及び分析について 北海道礼文高等学校教頭 黒津 豊輝  |                    |                   |                                     |
| ・第1章【生活充実度・人生観】 北海道別海高等学校教諭 日下 志織   |                    |                   |                                     |
| ・第2章【他者との関わりについての意識】 市立札幌平岸高等学校講師 阿部 保澄   |                    |                   |                                     |
| ・第3章【社会参加】 北海道札幌北高等学校教諭 伊藤 航  |                    |                   |                                     |
| ・第4章【調査結果全体の考察】 北海道札幌南高等学校教諭 佐藤 克宣  |                    |                   |                                     |
| (3)「授業実践発表」   |                    |                   |                                     |
| 公民科『公共』の授業を実践されている先生からの年間授業計画や評価方法を含めた発表内容をもとに質疑応答を実施する。  |                    |                   |                                     |
| ・実践発表①(「倫理」) 札幌創成高等学校教諭 渡辺 祥介   |                    |                   |                                     |
| ・実践発表②(「公共」) 北海道名寄高等学校教諭 濱中 聡志  |                    |                   |                                     |
| (4)「研究協議」   |                    |                   |                                     |
| 山田教授と参加された先生方との直接の対話を含め、公民科『公共』の授業における「社会的な見方・考え方」について研究協議を実施する。  |                    |                   |                                     |
| ○日 程  |                    |                   |                                     |
| 10:30～10:30 受付(オンライン参加を含む)  |                    |                   |                                     |
| 10:30～10:40 開会式   |                    |                   |                                     |
| 10:40～12:00 講演・質疑応答   |                    |                   |                                     |
| 12:00～12:30 授業実践発表①   |                    |                   |                                     |
| 12:30～13:40 休憩  |                    |                   |                                     |
| 13:40～14:20 意識調査報告  |                    |                   |                                     |
| 14:30～15:00 授業実践発表②   |                    |                   |                                     |
| 15:00～16:20 研究協議・助言   |                    |                   |                                     |
| 16:20～16:30 閉会式   |                    |                   |                                     |
| 16:30～16:55 総会  |                    |                   |                                     |
| ○参加申し込みについて(会場参加・オンライン形式による参加者共通フォーム)   |                    |                   |                                     |
| 右側のQRコードを読み取ってください。お申し込みの締切は、2023年8月4日(金)です。オンラインで参加される場合は、お申し込みまでに参加費をお振込みください。尚、入力にお間違えがあった場合は、再度入力し送信してください。 |                    |                   |                                     |
| ※詳細は、各学校に案内されている実施要領をご覧ください。  |                    |                   |                                     |



□全国大会関係

|             |   |                           |                  |                                  |
|-------------|---|---------------------------|------------------|----------------------------------|
| 研究会名称       | 全 国 歴 史 教 育 研 究 協 議 会   |                           |                  |                                  |
| 会 長 名       | 南 和 男 (東京都立武蔵高等学校統括校長)  | 事務局長                      | 豊 田 基 裕          |                                  |
| 事 務 局       | 東京都立大江戸高等学校   | 東京都江東区千石 3-2-11           | TEL 03-5606-9500 |                                  |
|             | 期 日   | 令和5年7月27日 (木)<br>~29日 (土) | 会 場              | なかのZERO ホール西館<br>(オンラインと対面による開催) |
|             |   |                           | 参 加 料            | 4,000 円                          |
| 研究会の<br>ご案内 | 全国歴史教育研究協議会第64回研究大会 (東京大会)  |                           |                  |                                  |
|             | <p>○日 程</p> <p>7月27日 (木)</p> <p>9:30~10:00 受付</p> <p>10:00~11:00 総会</p> <p>13:00~17:00 分科会 (第2~第5)</p> <p>第2分科会 「歴史総合」の可能性を探る~生徒と教師は何を学んだのか~<br/>津野田興一 (東京都立立川高等学校主任教諭)<br/>答えを言わない歴史総合の授業-考えること・議論すること・表現すること・疑問を見つけること<br/>須郷 一史 (東京都立江戸川高等学校主任教諭)<br/>生徒は歴史総合の授業を通して「近代化」をどのようにとらえたのか~レポートの記述分析を中心に~<br/>丸山 優介 (東京都立 翔 陽高等学校主任教諭)<br/>生徒の「問い」から考える歴史総合の授業の在り方</p> <p>第3分科会 「日本史探究」において、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業実践<br/>水野 圭太 (東京都立国立高等学校教諭)<br/>日本史探究における資料活用と問い<br/>植木 啓介 (東京都立日野高等学校主任教諭)<br/>日本史で資質・能力を育成するための授業研究-問い・仮説の表現と歴史的な見方・考え方<br/>橋場 久徳 (東京都立八王子拓真高等学校主任教諭)<br/>日本史探究における主体的で対話的な学びとその評価第3分科会「日本史探究」の可能性を探る</p> <p>第4分科会 「世界史探究」を通して学びを深める<br/>佐々木桃子 (東京都立光丘高等学校教諭)<br/>問いからはじまる世界史探究の授業~社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせる<br/>八木橋朋弥 (東京都立立川高等学校主任教諭)<br/>生徒の知的好奇心をくすぐる資料いっぱいの世界史探究授業例~生徒の興味・関心を引き出す授業を目指して~<br/>坂田 匡史 (東京都立小山台高等学校主任教諭)<br/>学びを深める問いの工夫-ICEモデルのアプローチを使って</p> <p>第5分科会 学校外の機関と連携したオンラインでの教材開発<br/>高林 陽展 (立教大学文学部准教授)</p> <p>事例紹介1<br/>ワークショップ「コロナの時代の感染症史教材を共創する-歴史総合にむけて-」<br/>「医学史と社会の対話」が企画・運営した高校教員との「歴史総合」に向けた教材づくり<br/>大井 将生 (東京大学大学院情報学環特任研究員)</p> <p>事例紹介2<br/>「S×UKILAM (スキラム連携): 多様な資料の教材化ワークショップ」<br/>学校の先生と図書館・博物館・美術館・資料館などのスタッフが集って、いろんな資料を学校の<br/>授業で使える教材にするアットホームなワークショップ</p> <p>コーディネーター<br/>海上 尚美 (北九州工業高等専門学校准教授)</p> <p>7月28日 (金)</p> <p>9:00~ 9:30 受付</p> <p>9:30~12:00 第1分科会 テーマ「歴史総合・探究構想と実践から」<br/>パネリスト</p> |                           |                  |                                  |

(中学校) 長井 利光 (中野区立明和中学校主任教諭)  
 (高等学校・世界史) 山川 志保 (お茶の水女子大学附属高等学校教諭)  
 (高等学校・日本史) 太田尾 智之 (東京都立国立高等学校主任教諭)  
 (大学) 成田 龍一 (日本女子大学名誉教授)  
 コーディネーター 島 津 聡 (東京都立八王子東高等学校主幹教諭)  
 13:00～14:30 記念講演 五百旗頭 薫 (東京大学大学院教授)  
 『話をそらすことの効用と危険～近現代日本の外  
 交と政治』  
 14:30～15:00 閉会行事

7月29日(土)  
 史跡見学(日帰りコース、貸切りバス使用 8,000円)



○申し込み方法(参加申し込みの締め切りは、7月21日(金))  
 全国歴史教育研究協議会のHP及び東京都歴史教育研究会のHPから申し込みWEBサイトにアクセスしていただくか、以下の申し込みWEBサイトにアクセスして必要な手続きを行ってください。  
 担当旅行社の(株)日本旅行が窓口(担当 保科、大関)となります。  
 ・大会申込 Web サイト <https://va.apollon.nta.co.jp/zenreki64/>

|             |  |  |   |  |
|-------------|--|--|---|--|
| 研究会名称       | 全 国 公 民 科 ・ 社 会 科 教 育 研 究 会                                  |  |   |  |
| 会 長 名       | 大 山 敏 (東京都立大島海洋国際高等学校長)                                      | 事務局長   | 篠 田 健一郎                                       |  |
| 事 務 局       | 東京都立西高等学校  | 東京都杉並区宮前4-21-32  | TEL 03-3333-7771                              |  |
| 研究会の<br>ご案内 | 期 日  | 令和5年7月28日(金)   | 会 場   | 【対面開催会場】 東京都立赤羽北桜高等学校<br>【オンライン開催】 Z o o m |
|             |  |  |   | 参加費・資料代 5,000円                             |
|             | 令和5年度全国公民科・社会科教育研究会全国研究大会(東京大会)<br>(兼公民科・社会科教育関東協議会第72回東京大会) |  |   |  |
|             | ○大会主題 未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する公民科教育のあり方                        |  |   |  |
|             | ○日 程   |  |   |  |
|             | 8:45～9:10  | 受付、オンライン接続   |   |  |
|             | 9:10～9:30  | 開会式・総会   |   |  |
|             | 9:30～10:50   | 記念講演 演題:「渋沢栄一の「論語と算盤」で次世代の未来を拓く」<br>講師:澁澤 健 氏 (シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役、新しい資本主義実現会議 有識者構成員) |   |  |
|             | 11:00～12:00  | 教科調査官講話①   | 政治・経済、公共担当<br>磯山 恭子 教科調査官 (文部科学省初等中等教育局教育課程課) |  |
|             | 13:00～14:00  | 教科調査官講話②   | 倫理、公共担当<br>井上 結香子 教科調査官 (文部科学省初等中等教育局教育課程課)   |  |
|             | 14:10～16:10  | 分科会  |   |  |
|             |  | ○「公共」・「倫理」に関する分科会  |   |  |
|             |  | 白井 裕 輔 先生 (東京都立小石川中等教育学校)<br>「中学校社会(公民分野)と高校公共の発展的接続<br>～効率と公正、帰結主義と義務論を用いた合意形成～」          |   |  |
|             |  | 内久根 直 樹 先生 (千葉県立東葛飾中学校・高等学校)<br>「「公共」の授業を逆向き設計する推察/転移/交差性」                                 |   |  |
|             |  | ○「公共」・「政治・経済」に関する分科会   |   |  |
|             |  | 佐々木 啓 真 先生 (東京都立世田谷泉高等学校)<br>「どのように金融経済教育を行うか ～家庭科との教科間連携を含めた実践事例～」                        |   |  |



高屋 恵 理 先生 (岩手県立黒沢尻北高等学校)  
「社会参画意識を高める「公共」の授業づくり  
～「見方・考え方」を働かせて考察、構想する学習活動の充実を通して～」

16:20～16:40 分科会報告

16:40～16:50 閉会式

○申し込み

- (1) 申込方法 (Microsoft forms を使用)

<https://forms.office.com/r/tUKkUG14SB>

※上記URL又は、QRコードを参照し、申込フォームより  
お申し込みください。



- (2) 申込期間

令和5年6月30日(金) 締切

※なお、Microsoft forms での申し込みができない場合は、東京都公民科・  
社会科教育研究会事務局までご連絡ください。

- (3) 費用のお支払い

令和5年6月30日(金) までに次の口座へお支払いください。

振込先銀行 みずほ銀行雷門支店 (店番629)

種類 普通預金 口座番号 1856011

口座名義 東京都公民科・社会科教育研究会

(トウキョウトコウミンカシヤカイカキヨウイクケンキユウカイ)

※振込人氏名は、ご参加される方のお名前をお願いします。

---

北海道高等学校教育研究会地歴・公民部会報 第111号 [令和5年(2023年)7月14日]

編集・発行：北海道有朋高等学校 高教研地歴公民部会事務局

〒002-8504 札幌市北区屯田9条7丁目

TEL：011-773-8200 FAX：011-773-8300

E-mail：yuho-ta0(a)hokkaido-c.ed.jp

(a)を@へ代えてください

URL：http://d-kokyoken.jp/subject/social/index.html

